

授業科目名： バドミントン	教員の免許状取得のための 選択必修科目	単位数： 1単位	担当教員名： 升佑二郎、林直樹、渡辺英次 担当形態： 複数
実務内容 (実務家教員の場合)			
科目	教科及び教科の指導法に関する科目（中学校及び高等学校 保健体育）		
施行規則に定める 科目区分又は事項等	教科に関する専門的事項「体育実技」		
「学位授与の方針」との関係 DP2. 共生社会創造のために、教育、福祉、環境、国際関係、スポーツ身体表現、等の専門的知見を得ることができる（専門知） DP4. 個人や社会にとって必要な課題の解決のため、自律的な課題探究能力を身につけて実践することができる（実践力）			
授業のテーマ及び到達目標  (1) ネットを挟んでシャトルを打ち合い、バドミントン特有の駆け引きやスピード感を楽しむ。 (2) ルールを正しく理解し、試合を自分達で進められるようになる。 (3) 運動学的あるいは力学的な観点からスポーツを見る経験をする。 (4) 起こり得る危険を回避し、安全を管理していく方法を理解する。 (5) バドミントンを通して主体的で対話的な深い学びを習得する。			
授業の概要 バドミントンは「レクリエーションスポーツ」や「生涯スポーツ」として非常に親しみやすいスポーツの一つであり、「レクリエーション」として誰もが一度は触れたことのあるスポーツだと考えられる。本授業はバドミントンを題材としてルールや歴史を正しく学び、「生涯スポーツ」の中での位置付けを一段昇華させること、そして楽しく積極的に運動を行う姿勢を養うことを目標とする。			
授業計画 第1回：バドミントンの歴史を誕生から現在の競技までの発展について、追体験する【独り遊びから、アソシエーション・ルールのバドミントンへ】 第2回：基本ストロークを体験し学習する【ドライブ、クリアー、ヘアピン、ドロップ、スマッシュ、レシーブ、プッシュ】 第3回：オーバーヘッド・ストロークの標準化に必要な「行動」を考える【視機能のトレーニング、空間と運動の予測、「衝突（コンタクト）」の学習】 第4回：ストローク・プロダクションに有効なグリップや構え、打球方法を考える【運動構造の理解と実践】 第5回：目的達成のためのストローク・プロダクションを考え、ストローク・ムーブする【何が目的を考え、目的達成のためにどこに打球し、どこにどのように動かすかを考える】 第6回：ルールの学習（1）【サービスと得点の関係を学習し、理解する】 第7回：ルールの学習（2）【フォルトに関して学習し、反則と設定されている意味を理解する】 第8回：シングルス・ゲーム【トラベリング技術を学習し、実践する】 第9回：ダブルス・ゲーム（1）【チームとしてディフェンスとアタックのバリエーションと陣形を理解して実践する】 第10回：ダブルス・ゲーム（2）【段階的指導を学習し、実践する】 第11回：ミックスダブルス・ゲーム【男女混合種目を体験してそれぞれの役割を理解し、実践する】 第12回：トリプルス【3対3のスピーディーな展開を体感し、レクリエーションとしての可能性を図る】 第13回：団体戦【個人種目における団体戦の意義と共生観念に関して学習する】 第14回：安全管理、危機回避義務指導【安全管理に関して再考する（スポーツ現場における怪我予見）】 第15回：まとめ【バドミントンの楽しさと課題についてまとめる】			
スクーリングでの学修  授業のテーマを理解した上で行動できる基礎を築く。 ・シャトルの飛び方と「打つ」運動の現象理解 ・ルールの把握とゲーム進行の理解 ・危険回避、安全管理に関する知識獲得 ・指導理論と具体的な指導方法			
テキスト 升佑二郎『必ずうまくなるバドミントン 基本と練習法』コスミック出版 2023年			
参考書・参考資料等 下記参考文献から、プリントを作成して適宜配布する。 (1) 基本的な技術（教科書と同等の扱い）： ◎池田信太郎『いちばんやさしいバドミントンの基本レッスン』新星出版社 2011年 ◎ヨネックスバドミントンチーム監修『バドミントン上達テクニク』実業之日本社 2010年 (2) ルールの理解： ◎日本バドミントン協会監修『観戦&プレーに役立つ！バドミントンのルール』実業之日本社 2016年 (3) 運動構造の理解： ◎日本バドミントン協会『バドミントン教本 基本編』ベースボールマガジン社 2001年 ◎阿部一佳、渡辺雅弘『基本レッスンバドミントン』大修館書店 1985年 ※(3)の2冊は2006年（ルール改正）以前の本なので、注意が必要 (4) 専門的指導理論： ◎阿部一佳、渡辺雅弘『バドミントンの指導理論1 改訂版』日本バドミントン指導者連盟 2008年 ◎片山卓哉『バドミントン ボディ革命』ベースボールマガジン社 2013年 ◎片山卓哉『バドミントン ボディ革命 体リセット 57』ベースボールマガジン社 2015年 (5) 歴史詳細： ◎阿部一佳、渡辺雅弘『バドミントンの歴史に学ぶ』日本バドミントン指導者連盟 2005年 (6) 解剖学関係： ◎中村千秋、竹内真希訳、Clem W.Thompson,R.T.Floyd 著『身体運動の機能解剖』医道の日本社 2002年 (7) 部活動指導に活かす指導書： ◎藤本ホセマリ『差がつく練習法 バドミントン 最新式・基礎ドリル』ベースボールマガジン社 2015年 ◎米倉加奈子『差がつく練習法 バドミントン 米倉加奈子式攻め勝つドリル』ベースボールマガジン社 2015年 (8) DVD ◎升佑二郎『日本初のバドミントン博士！升佑二郎の最新科学トレーニング』T&H 2014年			
学生に対する評価 スクーリング評価（50%）、科目修得試験（50%）			